

叙任及辭令 六月分續

○六月十六日

正七位 伊藤 麩

道路技師兼土木技師ニ任ス

高等官六等ヲ以テ待遇セラル

愛知縣土木技師兼道路技師 喜八郎

愛知縣土木技師ニ任ス  
高等官七等ヲ以テ待遇セラル

（各通） 埼玉縣土木技師 高田 貞一

愛知縣道路技師兼土木技師  
手陸軍歩兵少尉正八位 長尾 金次

土木技師兼道路師ニ任ス  
高等官七等ヲ以テ待遇セラル

愛知縣道路技師 奥 谷 研

土木技師兼道路技師ニ任ス  
高等官八等ヲ以テ待遇セラル

道路技師兼土木技師 岩崎 雄治  
土木技師兼道路技師ニ任ス

（以上六月十六日內閣）

土木技師兼道路技師 高田 貞一  
埼玉縣土木技師兼道路技師ニ補ス

道路技師兼土木技師 伊藤 麩  
同 館 喜八郎

（各通） 愛知縣道路技師兼土木技師ニ補ス  
土木技師兼道路技師 長尾 金次

同 愛知縣土木技師兼道路技師ニ補ス  
同 奥 谷 研

同 高知縣土木技師兼道路技師ニ補ス  
同 岩崎 雄治

（以上六月十六日內務省）  
土木技師兼道路技師 高田 貞一

十級俸下賜（六月十六日埼玉縣）  
○六月十七日

地方技師 岸田 正一  
兵庫縣勤務ヲ命ス

道路技師兼土木技師 岸田 正一  
兵庫縣道路技師兼土木技師ニ補ス

道路技師兼土木技師 本多憲千代  
長野縣道路技師兼土木技師ニ補ス

（以上六月十七日內務省）  
道路技師兼土木技師 岸田 正一

七級俸下賜（六月十七日兵庫縣）  
道路技師兼土木技師 本多憲千代

八級俸下賜（六月十七日長野縣）  
○六月十九日

神奈川縣土木技師 境 清吉  
手兼道路技師

（各通） 土木技師兼道路技師ニ任ス 坂本 吉次  
高等官七等ヲ以テ待遇セラル

（以上六月十九日內閣）  
土木技師兼道路技師 境 清吉

高知縣土木技師兼道路師ニ補ス  
土木技師兼道路技師 坂本 吉次

大分縣土木技師兼道路技師ニ補ス  
（以上六月十九日內務省）

○六月二十九日 正七位 丸山 照六

土木技師兼道路技師ニ任ス  
高等官六等ヲ以テ待遇セラル

道路主事 森 長三郎  
願ニ依リ本職ヲ免ス

（以上六月二十九日內閣）  
土木技師兼道路技師 丸山 照六

神奈川縣土木技師兼道路技師ニ補ス  
(六月二十九日内務省)

土木技師 丸山 照六

七級俸下賜(六月二十九日神奈川縣)

○六月三十日

(各通) 地方技師 溝口 親種  
川庄震吉郎

陸叙高等官三等

(各通) 同 近藤 博夫  
中山 熊雄

陸叙高等官四等

同 榊井 照藏

陸叙高等官五等

道路技師兼土木技師 溝口 親種

(各通) 土木技師 川庄震吉郎

陸シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル

(各通) 道路技師 田中 傳吾

道路技師兼土木技師 奥田 喜知藏

陸シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル

道路技師兼土木技師 山田 一

陸シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル

土木技師兼道路技師 佐々 信治

道路技師兼土木技師 三輪 良均

叙任 辭令

(各通)

陸シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル

道路主事 吉本 義久

陸シテ高等官七等ヲ以テ待遇セラル

(以上六月三十日内閣)

三級俸下賜 北海道廳技師 福岡 五一

三級俸下賜

同 大橋 敏

(各通) 同 杉森 文彦

同 林 千秋

四級俸下賜

同 山田昇太郎

(各通) 同 松枝久太郎

同 馬島 進

九級俸下賜

地方技師 有光 兎茂喜

(各通) 同 川越 篤

同 調所 武光

四級俸下賜

同 中原 麗一郎

五級俸下賜

(各通) 同 後藤 季總

同 中川 幸太郎

六級俸下賜(以上六月三十日内務省)

道路技師 鈴木善之助

三級俸下賜

同 青木美一郎

(各通) 同 土木技師 宇都宮正登

同 小島達太郎

八級俸下賜

道路技師 大谷 保藏

(各通) 同 左右田友三郎

同 關谷 清助

九級俸下賜(以上六月三十日東京府)

土木技師 高桑 敬二

八級俸下賜

道路技師 平尾鹿之助

十級俸下賜(以上六月三十日埼玉縣)

× × × ×

▲ 募 集 ▼

一 道路に關する感想 經驗 技術 又は研究 批判或は隨筆翻譯等の客稿を募る

但し抄譯翻譯引例等につきては其出所を記入し又匿名掲載を望まるゝ時は之を附記ありたし

二 道路交通に關係ある寫真並に繪畫を募集す

但し繪畫其他重要な参考品にして還付を要するものは其旨附記ありたし(返送料は之を要せず)

三 土木出張所又は管區所或は工區出張所等に於ける移動の報告並に所管内の狀況報道

但し本項は全國に於ける實際の活動振りを知る参考機關なるを以て簡易なりとも迅速に報告ありたし

道廳府縣を通じ活動表中に白欄なきやう相互の注意を希望す

○尙又掲載記事に關する注意若くは批評或は希望等あらば通知せられたし但し載否の如何に拘らず寄稿は凡て返戻せず

○掲載完了のものに對しては薄謝を贈ることあるべし

大正十二年五月一日

大正十四年七月十日印刷  
大正十四年七月十五日發行

本號實價金五拾錢  
(一ヶ年分金六圓)

價 送 及 價 誌  
内國送料 外國送料  
金貳錢 金十二錢

東京市麴町區大手町內務省內

發行者 道路改良會

編輯者 平山慶次郎

東京市小石川區諏訪町五十六

印刷所 常磐印刷所

同

印刷者 堀江關武

同

發賣所 東京銀座 東海堂  
東京本郷 誠春堂  
東京神田 東京堂  
大阪梅田 盛文館  
京都四條 共盛社  
朝鮮京城 自韓書房

全賣御  
國切申  
各の込  
書節あ  
店はり  
てに直  
接した